



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場会社名 富士重工業株式会社
コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山藤 和典
四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

TEL 03-3347-2005
平成23年12月5日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 655,023 | △18.5 | 18,760 | △67.3 | 21,563 | △63.3 | 32,753 | △26.5 |
| 23年3月期第2四半期 | 803,994 | 26.5 | 57,349 | — | 58,825 | — | 44,566 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 23,726百万円 (△13.4%) 23年3月期第2四半期 27,386百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 41.97 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 57.20 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 1,266,910 | 434,334 | 34.2 |
| 23年3月期 | 1,188,324 | 413,963 | 34.7 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 432,995百万円 23年3月期 412,661百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 4.50 | — | 4.50 | 9.00 |
| 24年3月期 | — | 4.50 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 4.50 | 9.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----------|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,480,000 | △6.4 | 30,000 | △64.3 | 29,000 | △64.7 | 36,000 | △28.5 | 46.13 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 782,865,873 株 | 23年3月期 | 782,865,873 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 2,404,874 株 | 23年3月期 | 2,605,141 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 780,346,923 株 | 23年3月期2Q | 779,165,554 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

< 添付資料 目次 >

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報..... | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報..... | 4 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項..... | 4 |
| 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表..... | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... | 7 |
| 四半期連結損益計算書..... | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書..... | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記..... | 11 |
| (5) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更..... | 11 |
| (6) 追加情報..... | 11 |
| (7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 11 |
| (8) その他注記情報..... | 12 |
| (9) セグメント情報等..... | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、東日本大震災の影響に加え、円高による為替レート差の影響を受けたことなどにより、6,550億円と前年同期比1,490億円（18.5%）の減収となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴い、営業利益が188億円と前年同期比386億円（67.3%）の減益となり、経常利益につきましても、216億円と前年同期比373億円（63.3%）の減益となりました。また、四半期純利益につきましても、本年4月に新宿スバルビルを売却したことに伴う特別利益261億円を計上しましたが、328億円と前年同期比118億円（26.5%）の減益となりました。

[セグメントの状況]

第2四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

東日本大震災の影響により大幅に生産台数が減少したことなどにより、スバルの販売状況等は、以下の通りとなりました。

国内におけるスバルの登録車販売は、新エンジンを搭載した「フォレスター」が前年同期を上回る好調な推移となり、昨年11月に発売した「トレジア」も台数の上積みにも寄与したことから全体需要を上回る販売実績となりましたが、売上台数は36千台と前年同期比2千台（4.9%）の減少となりました。

また、軽自動車につきましても、5月に「ステラ」のフルモデルチェンジを行いました。その他車種による落ち込みをカバー出来ず、売上台数は37千台と前年同期比14千台（27.7%）の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は73千台と前年同期比16千台（18.0%）の減少となりました。

海外につきましては、地域別の売上台数が、北米で128千台と前年同期比16千台（11.0%）の減少、ロシアを含む欧州で20千台と前年同期比9千台（31.3%）の減少、豪州で16千台と前年同期比5千台（23.7%）の減少、中国で19千台と前年同期比13千台（40.9%）の減少、その他地域で10千台と前年同期比6千台（38.4%）の減少となりました。

これらの結果、海外における売上台数の合計は193千台と前年同期比49千台（20.3%）の減少となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は266千台と前年同期比65千台（19.7%）の減少となり、全体の売上高は、為替の円高による影響もあり、5,943億円と前年同期比1,477億円（19.9%）の減収となりました。また、セグメント利益につきましても、171億円と前年同期比384億円（69.3%）の減益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では固定翼哨戒機「P-1」や部品等の売上が増加したものの、「F-2」戦闘機の契約終了による売上の減少等により、売上高は前年同期並みとなりました。

また、民間向け製品では「ボーイング777」の売上は増加したものの、円高による為替レート差の影響などにより、売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、全体の売上高は374億円と前年同期並みとなりましたが、セグメント利益につきましては、売上構成が改善したことにより、10億円と前年同期比5億円（92.0%）の増益となりました。

③産業機器事業部門

国内につきましては、東日本大震災の復興向け発電機を中心として販売台数が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

一方、海外につきましては、ロシア、中東、東南アジア向けなどにおいてエンジン販売が堅調に推移したものの、北米向けのエンジン販売が大きく低迷したことに加え、為替の円高の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は173億円と前年同期比9億円（5.5%）の増収となりました。セグメント利益につきましても、3億円と前年同期比2億円（171.7%）の増益となりました。

④その他事業部門

風力発電システム関連の売上が減少したことなどにより、売上高は59億円と前年同期比21億円（26.6%）の減収となりました。セグメント利益につきましても、4億円と前年同期比9億円（70.2%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1兆2,669億円と前期末に比べ786億円の増加となりました。主な要因は、銀行借入による運用資金の増加に伴い、有価証券が928億円増加したことなどです。

負債につきましては、8,326億円と前期末に比べ582億円の増加となりました。主な要因は、社債を200億円償還したものの、銀行借入の実施により、長期借入金が増加したことなどです。

純資産につきましては、4,343億円と前期末に比べ204億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が増加したことなどです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,793億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は92億円（前年同四半期は905億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を402億円計上したものの、売上債権の増加237億円、たな卸資産の増加189億円があったことなどです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は140億円（前年同四半期は265億円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の売却による収入（取得による支出との純額）135億円などです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は522億円（前年同四半期は292億円の減少）となりました。主な要因は、社債の償還による支出200億円があったものの、長期借入れによる収入（返済による支出との純額）709億円があったことなどです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、平成23年8月2日に公表した業績見通しに対し、販売費等の諸経費削減が進んだこと、また国内外で販売が計画を上回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益が見通しを上回りました。

しかしながら、平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、販売台数を前回予想比13千台増の645千台とすると共に、引き続き諸経費削減に努めるものの、為替の円高が更に進行していることから、売上高1兆4800億円、営業利益300億円の前回予想を据え置きます。

経常利益につきましては為替予約の影響などにより290億円に、当期純利益につきましては360億円にそれぞれ見直します。

なお、通期の連結業績予想数値の前提となる為替レートは1米ドル78円（前回公表81円）、1ユーロ108円（前回公表115円）となっております。また、下期の為替レートは1米ドル77円、1ユーロ105円としております。

平成24年3月期通期連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|------------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 1,480,000 | 百万円 30,000 | 百万円 25,000 | 百万円 35,000 | 円 銭 44.90 |
| 今回発表予想(B) | 1,480,000 | 30,000 | 29,000 | 36,000 | 46.13 |
| 増減額(B-A) | 0 | 0 | 4,000 | 1,000 | |
| 増減率(%) | 0 | 0 | 16.0 | 2.9 | |
| (ご参考)前期実績 (平成23年3月期) | 1,580,563 | 84,135 | 82,225 | 50,326 | 64.56 |

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 211,700 | 164,167 |
| 受取手形及び売掛金 | 76,810 | 100,514 |
| リース投資資産 | 23,050 | 21,925 |
| 有価証券 | 21,063 | 113,835 |
| 商品及び製品 | 72,871 | 85,006 |
| 仕掛品 | 56,567 | 57,966 |
| 原材料及び貯蔵品 | 36,974 | 37,466 |
| 繰延税金資産 | 13,754 | 13,794 |
| 短期貸付金 | 59,986 | 71,776 |
| その他 | 39,396 | 43,735 |
| 貸倒引当金 | △1,851 | △1,935 |
| 流動資産合計 | 610,320 | 708,249 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 118,267 | 114,225 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 81,261 | 91,032 |
| 土地 | 177,697 | 171,224 |
| 賃貸用車両及び器具（純額） | 11,751 | 7,539 |
| 建設仮勘定 | 21,391 | 15,395 |
| その他（純額） | 20,475 | 18,842 |
| 有形固定資産合計 | 430,842 | 418,257 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 12,040 | 11,346 |
| 無形固定資産合計 | 12,040 | 11,346 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 68,052 | 65,379 |
| 繰延税金資産 | 1,812 | 2,125 |
| その他 | 69,269 | 65,523 |
| 貸倒引当金 | △4,011 | △3,969 |
| 投資その他の資産合計 | 135,122 | 129,058 |
| 固定資産合計 | 578,004 | 558,661 |
| 資産合計 | 1,188,324 | 1,266,910 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 176,895 | 184,334 |
| 短期借入金 | 99,072 | 104,146 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 20,902 | 20,786 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,010 | 20,010 |
| 未払法人税等 | 2,089 | 5,392 |
| 未払費用 | 60,876 | 51,901 |
| 賞与引当金 | 16,322 | 16,269 |
| 製品保証引当金 | 27,172 | 26,661 |
| 工事損失引当金 | 4,681 | 5,083 |
| その他 | 52,684 | 57,432 |
| 流動負債合計 | 480,703 | 492,014 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 24,080 | 4,075 |
| 長期借入金 | 166,562 | 237,591 |
| 繰延税金負債 | 14,002 | 13,604 |
| 退職給付引当金 | 33,707 | 33,674 |
| 役員退職慰労引当金 | 561 | 419 |
| その他 | 54,746 | 51,199 |
| 固定負債合計 | 293,658 | 340,562 |
| 負債合計 | 774,361 | 832,576 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 153,795 | 153,795 |
| 資本剰余金 | 160,071 | 160,071 |
| 利益剰余金 | 156,948 | 186,225 |
| 自己株式 | △1,381 | △1,259 |
| 株主資本合計 | 469,433 | 498,832 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,567 | 10,653 |
| 為替換算調整勘定 | △68,339 | △76,490 |
| その他の包括利益累計額合計 | △56,772 | △65,837 |
| 少数株主持分 | 1,302 | 1,339 |
| 純資産合計 | 413,963 | 434,334 |
| 負債純資産合計 | 1,188,324 | 1,266,910 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 803,994 | 655,023 |
| 売上原価 | 620,231 | 523,544 |
| 売上総利益 | 183,763 | 131,479 |
| 販売費及び一般管理費 | 126,414 | 112,719 |
| 営業利益 | 57,349 | 18,760 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 554 | 531 |
| 受取配当金 | 358 | 382 |
| 持分法による投資利益 | 2,146 | 453 |
| 不動産賃貸料 | 260 | 263 |
| デリバティブ評価益 | 3,363 | 5,710 |
| その他 | 1,181 | 1,212 |
| 営業外収益合計 | 7,862 | 8,551 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,593 | 1,921 |
| 為替差損 | 1,962 | 1,341 |
| その他 | 1,831 | 2,486 |
| 営業外費用合計 | 6,386 | 5,748 |
| 経常利益 | 58,825 | 21,563 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 58 | 26,455 |
| 投資有価証券売却益 | 358 | 526 |
| 貸倒引当金戻入額 | 244 | — |
| 貸付債権譲渡益 | 324 | — |
| その他 | 11 | 114 |
| 特別利益合計 | 995 | 27,095 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 503 | 638 |
| 減損損失 | 835 | 63 |
| 災害による損失 | — | 7,257 |
| 過年度損益修正損 | 1,347 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 372 | — |
| 建替関連損失 | 657 | — |
| その他 | 407 | 513 |
| 特別損失合計 | 4,121 | 8,471 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 55,699 | 40,187 |
| 法人税等合計 | 11,035 | 7,394 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 44,664 | 32,793 |
| 少数株主利益 | 98 | 40 |
| 四半期純利益 | 44,566 | 32,753 |

四半期連結包括利益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 44,664 | 32,793 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,640 | △914 |
| 為替換算調整勘定 | △15,493 | △8,224 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △145 | 71 |
| その他の包括利益合計 | △17,278 | △9,067 |
| 四半期包括利益 | 27,386 | 23,726 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 27,298 | 23,688 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 88 | 38 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 55,699 | 40,187 |
| 減価償却費 | 27,566 | 27,810 |
| 減損損失 | 835 | 63 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △249 | △59 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | 2,097 | 86 |
| 工事損失引当金の増減額 (△は減少) | 1,164 | 402 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 856 | △179 |
| 受取利息及び受取配当金 | △912 | △913 |
| 支払利息 | 2,593 | 1,921 |
| デリバティブ評価損益 (△は益) | △3,363 | △5,710 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △2,146 | △453 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 445 | △25,817 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 13,366 | △23,667 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △4,420 | △18,877 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △2,409 | 9,393 |
| リース投資資産の増減額 (△は増加) | 3,782 | 1,125 |
| 営業貸付金の増減額 (△は増加) | △2,162 | △5,906 |
| 貸貸用車両及び器具の増減額 (△は増加) | △2,889 | 3,148 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | 1,010 | △570 |
| その他 | 7,616 | △3,833 |
| 小計 | 98,479 | △1,849 |
| 利息及び配当金の受取額 | 915 | 1,116 |
| 利息の支払額 | △2,687 | △1,847 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △6,223 | △6,662 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 90,484 | △9,242 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △1,741 | △3,527 |
| 有価証券の売却による収入 | 2,214 | 1,973 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △23,539 | △20,632 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 529 | 34,111 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,598 | △1,236 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △10,193 | △8,491 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 9,053 | 7,432 |
| 貸付けによる支出 | △40,624 | △38,850 |
| 貸付金の回収による収入 | 42,025 | 41,578 |
| その他 | △2,650 | 1,594 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △26,524 | 13,952 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △9,433 | 5,074 |
| 長期借入れによる収入 | 13,370 | 77,020 |
| 長期借入金の返済による支出 | △12,584 | △6,146 |
| 社債の償還による支出 | △20,005 | △20,005 |
| 配当金の支払額 | — | △3,512 |
| その他 | △530 | △272 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △29,182 | 52,159 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △12,083 | △5,302 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 22,695 | 51,567 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 191,466 | 227,704 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | — | 32 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 214,161 | 279,303 |

（4）継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
該当事項はありません。

（5）連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
（持分法適用の範囲の変更）

スバルカスタマイズ工房株式会社は、当社の連結子会社である桐生工業株式会社と平成23年4月1日に合併したことにより、第1四半期連結会計期間より持分法の適用範囲から除外しております。

スバル オブ ホンコン LTD. は、重要性が増したことにより、当第2四半期連結会計期間より持分法の適用範囲に含めております。

（6）追加情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（連結納税制度の適用）

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
該当事項はありません。

(8) その他注記情報

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

(特別損失)

- 1) 当第2四半期連結累計期間において当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

| 用途 | 場所 | 種類 |
|------|----------|--------------|
| 遊休資産 | 東京都 他10件 | 建物及び構築物、土地、他 |

減損損失を認識した遊休資産については個別の物件毎にグルーピングしております。

(科目別の計上額)

| 科目 | 金額 |
|---------|---------|
| 建物及び構築物 | 79 百万円 |
| 土地 | 754 百万円 |
| その他 | 2 百万円 |
| 合計 | 835 百万円 |

- 2) 特別損失における過年度損益修正損1,347百万円は、過年度の売上原価を修正したものであります。

- 3) エビススバルビルの建替に関連して、以下の特別損失を計上しております。

| 内容 | 金額 |
|-----------|---------|
| 解体費用見積もり額 | 334 百万円 |
| 臨時償却費 | 323 百万円 |
| 合計 | 657 百万円 |

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

(特別利益)

固定資産売却益のうち、26,143百万円は当社と当社の連結子会社であるスバル興産株式会社が新宿スバルビルおよび同敷地を小田急電鉄株式会社に売却したことによるものであります。

(特別損失)

災害による損失は東日本大震災によるものであり、主に操業等低下分の固定費用であります。

(9) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|---------|--------------|------------------------------------|
| | 自動車 | 航空宇宙 | 産業機器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 742,042 | 37,433 | 16,438 | 795,913 | 8,081 | 803,994 | — | 803,994 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,239 | — | 3 | 1,242 | 6,326 | 7,568 | △7,568 | — |
| 計 | 743,281 | 37,433 | 16,441 | 797,155 | 14,407 | 811,562 | △7,568 | 803,994 |
| セグメント利益 | 55,498 | 528 | 92 | 56,118 | 1,237 | 57,355 | △6 | 57,349 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|---------|--------------|------------------------------------|
| | 自動車 | 航空宇宙 | 産業機器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 594,314 | 37,436 | 17,341 | 649,091 | 5,932 | 655,023 | — | 655,023 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,268 | — | 50 | 1,318 | 6,039 | 7,357 | △7,357 | — |
| 計 | 595,582 | 37,436 | 17,391 | 650,409 | 11,971 | 662,380 | △7,357 | 655,023 |
| セグメント利益 | 17,050 | 1,014 | 250 | 18,314 | 369 | 18,683 | 77 | 18,760 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

〈 2012年3月期 第2四半期決算 参考資料 〉

<単位>金額：億円、台数：千台、比率：％

| | 2011年3月期 第2四半期累計期間 (2010.4.1~2010.9.30) | 2012年3月期 第2四半期累計期間 (2011.4.1~2011.9.30) | | 2011年3月期 通期実績 (2010.4.1~2011.3.31) | 2012年3月期 通期予想 (2011.4.1~2012.3.31) | | 2012年3月期 前回通期予想 (2011.4.1~2012.3.31) | |
|-------------|---|--|---|--|---|---------------|--|--|
| | | 増減 | 増減率 | | 増減 | 増減率 | | |
| 売上高 | 8,040 | 6,550 | △ 1,490 △ 18.5 | 15,806 | 14,800 | △ 1,006 △ 6.4 | 14,800 | |
| 国内 | 2,520 | 2,245 | △ 275 △ 10.9 | 4,673 | 4,700 | 27 0.6 | 4,500 | |
| 海外 | 5,520 | 4,305 | △ 1,215 △ 22.0 | 11,132 | 10,100 | △ 1,032 △ 9.3 | 10,300 | |
| 営業利益 | 573 | 188 | △ 386 △ 67.3 | 841 | 300 | △ 541 △ 64.3 | 300 | |
| 利益率 | 7.1 | 2.9 | | 5.3 | 2.0 | | 2.0 | |
| 経常利益 | 588 | 216 | △ 373 △ 63.3 | 822 | 290 | △ 532 △ 64.7 | 250 | |
| 利益率 | 7.3 | 3.3 | | 5.2 | 2.0 | | 1.7 | |
| 当期純利益 | 446 | 328 | △ 118 △ 26.5 | 503 | 360 | △ 143 △ 28.5 | 350 | |
| 利益率 | 5.5 | 5.0 | | 3.2 | 2.4 | | 2.4 | |
| 営業利益増減要因 | | 諸経費等減 224 売上構成差等 △ 322 為替レート差 △ 210 原価低減等 △ 52 試験研究費増 △ 26 | | | 諸経費等減 97 為替レート差 △ 456 原価低減等 △ 105 試験研究費増 △ 51 売上構成差等 △ 27 | | | |
| 為替レート | 90円/US\$ 116円/EURO | 80円/US\$ 114円/EURO | | 86円/US\$ 114円/EURO | 78円/US\$ 108円/EURO | | 81円/US\$ 115円/EURO | |
| 設備投資 | 220 | 276 | | 431 | 600 | | 600 | |
| 減価償却費 | 240 | 254 | | 498 | 550 | | 550 | |
| 試験研究費 | 203 | 229 | | 429 | 480 | | 480 | |
| 有利子負債残高 | 3,367 | 3,866 | | 3,306 | 3,500 | | 3,700 | |
| 業績評価 | | 2期ぶりの減収 2期ぶりの当期純利益減益 | | | 2期ぶりの減収 2期ぶりの当期純利益減益 | | | |
| 日本売上台数 | 89 | 73 | △ 16 △ 18.0 | 158 | 169 | 11 6.7 | 164 | |
| 登録車 | 38 | 36 | △ 2 △ 4.9 | 68 | 73 | 4 6.5 | 71 | |
| 軽自動車 | 51 | 37 | △ 14 △ 27.7 | 90 | 96 | 6 6.8 | 93 | |
| 海外売上台数 | 243 | 193 | △ 49 △ 20.3 | 499 | 476 | △ 23 △ 4.6 | 468 | |
| 北米 | 144 | 128 | △ 16 △ 11.0 | 307 | 309 | 2 0.6 | 302 | |
| 欧州 | 29 | 20 | △ 9 △ 31.3 | 60 | 52 | △ 7 △ 12.1 | 51 | |
| 中国 | 32 | 19 | △ 13 △ 40.9 | 62 | 55 | △ 7 △ 11.7 | 55 | |
| その他 | 37 | 26 | △ 11 △ 30.0 | 70 | 60 | △ 10 △ 14.7 | 60 | |
| 連結売上台数総計 | 331 | 266 | △ 65 △ 19.7 | 657 | 645 | △ 12 △ 1.9 | 632 | |
| 生産台数合計 | 322 | 247 | △ 76 △ 23.5 | 624 | 638 | 15 2.4 | 630 | |
| 日本 | 245 | 178 | △ 67 △ 27.2 | 459 | 468 | 9 2.0 | 463 | |
| 米国 | 78 | 69 | △ 9 △ 11.8 | 165 | 170 | 5 3.2 | 167 | |
| 売上高 事業別 | 自動車 7,420 航空宇宙 374 産業機器 164 その他 81 | 5,943 374 173 59 | △ 1,477 △ 19.9 0 0.0 9 5.5 △ 21 △ 26.6 | 14,522 828 301 155 | / | | | |
| 営業利益 事業別 | 自動車 555 航空宇宙 5 産業機器 1 その他 12 | 171 10 3 4 | △ 384 △ 69.3 5 92.0 2 171.7 △ 9 △ 70.2 | 804 23 △ 1 15 | | | | |
| 消去・全社 | △ 0 | 1 | 1 - | 1 | | | | |

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（百台以下を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

※上記の次期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。



2011年11月1日

富士重工業 2012年3月期 第2四半期連結業績の概要

<2012年3月期 第2四半期累計期間業績：連結売上高>

東日本大震災による大幅な生産台数減の影響により、スバルの国内販売は前年同期比18.0%減の73千台、海外販売は同20.3%減の193千台、全世界合計の販売台数は同19.7%減の266千台となりました。この結果、連結売上高は売上台数の減少に加え為替の円高による影響もあり、同18.5%減の6,550億円となりました。

<2012年3月期 第2四半期累計期間業績：連結損益>

第2四半期累計期間業績については、販管費をはじめとした諸経費削減に努めたものの、震災影響によるスバルの販売台数減と為替の円高の影響等により、営業利益は前年同期比67.3%減となる188億円となりました。経常利益は同63.3%減の216億円、純利益は本社ビル売却による特別利益261億円を計上したものの、同26.5%減の328億円となりました。

<2012年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、販売台数を前回予想比13千台増の645千台とするとともに、引き続き諸経費削減に努めるものの、為替の円高がさらに進行していることから、売上高1兆4,800億円、営業利益300億円の前回予想値を据え置きます。経常利益については為替予約の影響などにより290億円に、当期純利益については360億円にそれぞれ見直します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥78/\$、¥108/EUROです。

※通期連結業績見通し（2011年8月2日公表）

売上高1兆4,800億円、営業利益300億円、経常利益250億円、当期純利益350億円、
想定為替レート¥81/\$、¥115/EURO